

事務事業名 ふれあいのまちづくり事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1044

施策：	17	地域共生社会の推進	財務コード	01030101-10-131
基本事業：	03	地域福祉を支え、推進する人や組織の担い手づくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	福祉委員の数 地域での福祉活動に参加している市民の割合 福祉ボランティア数 民生委員・児童委員の充足率		担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成14年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市社会福祉協議会			地域福祉を総合的に推進するため、筑紫野市社会福祉協議会に補助を行う。以下の事業に対して補助を実施する。 1)福祉委員事業 福祉委員は、行政区単位の小地域で活動するボランティアで、民生委員・区長などと協力して福祉活動を実践する。福祉委員事業推進のため、ボランティア保険、研修会費用弁償等のほか、小地域福祉活動推進費の一部を補助している。 民生委員児童委員連合会事務局事業 民生委員児童委員連合会の円滑な活動のため、民生委員・児童委員研修会等旅費、消耗品費など事務局の運営に要する経費を補助している。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
社会福祉協議会が実施する事業により、地域住民の参加と市や福祉団体などが連携し、ともに支え合う地域社会づくりができています。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
福祉委員数		人	197	201	200	200			200
研修等参加率		%	73.5	77.6	79.6	79.6			100
5. コスト									
事業費		計	千円	2,182	2,137	2,476	2,438		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.14	0.09	0.06				
正職員人件費		千円	1,094	722	503				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,276	2,859	2,979	2,438			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		指標A<状況> 福祉委員数は、令和6年度201人と増加している。 <原因>行政区での担い手づくりが進んでいる。 指標B<状況> 研修等参加率は増加している。 <原因>福祉委員個人によって参加意識に差があるため、参加率向上のために意識啓発を行っていく。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
多様化する福祉課題のため、地域福祉の担い手である福祉委員と民生委員・児童委員に求められる役割等についても拡大している。 民生委員・児童委員は令和7年12月に一斉改選となる。			備考・特記事項 or 進行管理欄						